



## 2020年度 U-12リーグ/全日本5B予選細則



### 【参加クラブの条件】 詳細別記

- ・会場提供
- ・春の学年別大会、秋の区民大会の6年生大会、5年生大会には参加できない。

### 【大会日程】

- ・前期リーグは前年度後期の成績ごとにブロックを再編新規参入チームは最下部ブロック（9チーム以上で1つのブロック構成）で4月～6月。  
後期のリーグは前期の成績ごとにブロックを再編し7月～9月に実施。
- ・雨天中止の試合は0-0の引き分け、勝ち点も0として仮消化し、ブロックごとの期日までに全日程を消化できない場合はそこで打ち切る。  
試合数が異なる場合は勝ち点率（勝ち点÷試合数）で成績を決める。
- ・全日本予選は10月から開始する。  
後期リーグの成績を考慮したトーナメント方式でベスト4までを決定する。  
1部ブロック：12チーム（予定）、2部ブロック：12チーム、3部ブロック：11チーム

### 【大会運営方式】

- ・全日本予選にはU-12リーグ参加全チームが出場する。
- ・小学校会場など6年生が8人制で試合するのに狭すぎる場合、両チームの合意があれば、7人または6人で行うことも容認する。

### 【特記事項（競技規則）】

- ・2チームエントリーは下記の条件で認める。（申込時、その旨、申告が必要）  
2チームエントリーの場合、6年生【のみ】で20名以上いること。  
下の学年からの補充はできない。  
2チームエントリーの場合、それぞれのチームに監督・コーチは別であること。  
試合日程等で2チームエントリーで有ることは、考慮されない。  
期間途中で選手人数不足で不戦負けが続く等、運営に支障を起すことが有った場合は、翌年度の参加を認めないことが有る。
- ・リーグ戦で3回警告を受けた選手は次の1試合に出場できない。  
累積の警告は後期リーグの終了時点で消滅する。
- ・リーグ戦が不成立となった場合、不戦勝チームに勝ち点3、得点3を与え、不戦敗チームは勝ち点-1（勝ち点1を剥奪）、得点0とする。

### 【次年度の東京2部リーグ昇格戦】

- ・後期のリーグ戦の結果から、次年度の東京2部リーグ昇格戦に出場するブロック **推薦1チーム**を決定する（ただし、対象学年は5年生以下）。
- ・**推薦条件**  
後期の1部ブロックで1位であること。



ただし、東京2部リーグの参加資格を満たさない場合は、次チームを推薦。

#### 【参加条件詳細】

- ・今年度は、35チーム（予定）が参加。
- ・12チームリーグ×2、11チームリーグ×1ブロックで予選リーグ戦を前期・後期に分けて2回行う。
- ・期日までに試合が消化できない場合、リーグ戦を途中で打ち切り、その時点での成績で全日本トーナメントを実施する。
- ・試合会場を半数確保出来る事が必須条件
  - ・中学校・高等学校のグラウンドを使用する場合は、ゴールが少年サイズでなくても認める。
  - ・ライン表示についてはマーカーコーンの使用も認める。
  - ・提供グラウンドは、世田谷区内が望ましいが区外グラウンドも認める。
  - ・小学校など、狭いコートサイズで行う場合、6人制、7人制で行うことも認める。

---

#### ★U-12リーグに参加するクラブ…

- ・参加チームは、春季学年別および区民大会の5年生大会、6年生大会に申込できない。
- ・大会参加費 年間で 計 1万1千円（昨年度は 1万7千円）  
内訳：都連盟への上納金5千円、チーム登録費4千円  
（他に、春季学年別大会及び区民体育大会参加費として、各1千円）  
5年、6年のチーム登録費は不要。
- ・トッカーノ、バディ、MIPは、東京都少年連盟の東京リーグに参加するため、2チームエントリー（特記事項参照）で1チームは5ブロック予選に参加できる。  
（連盟の5年生、6年生大会も参加不可）
- ・少年連盟の方針が確定した後、変更になる場合がある。

---

#### ★全日本ブロック予選に参加しないクラブ…

- 春季学年別、区民体育大会で実施する5年生、6年生大会に参加できる。  
各大会2チーム参加可。  
春季学年別大会は複数ブロックに分かれてリーグ戦、ベスト4～8による決勝トーナメント。  
区民体育大会はトーナメント戦のみにする可能性があります。あ  
Challenger Cup（5年対象）、ラストマッチ（6年対象）、  
1日限定の大会等の実施があれば参加可。  
大会参加費は各1千円だが、年間のチーム登録費4000円（または2000円）／チーム必要。  
・4種未登録のクラブを除き、各種のイベントに優先的に参加できるように3ポイントを付与する。

